



## NPO法人 国際社会人剣道クラブ中国地区クラブ会報

INTERNATIONAL GOODWILL KENDO CLUB

第288号 2026（令和8）年3月発行

中国地区クラブ会長 三好 伸二

発行責任者 幹事長 寺本 昭彦

E-mail : z04zkxf8fe@hi3.enjoy.ne.jp

# 正心

SEI SHIN

特定非営利活動法人 国際社会人剣道クラブ <http://www.npo-igkd.or.jp>

### 2026(令和8)年新年度スタートです！！

3月1日、「2026(令和8)年度」の新年度がスタートしました。

2026(令和8)年度も、会員の皆様が“交剣知愛”で楽しく参加できる例会運営・国際交流の推進に加え、クラブの更なる発展に向けた「会員拡大」と「レベルアップ」を重点課題として取り組んでまいります。

特に、次回の全国例会に向けた体制の確立と選手強化を見据え、稽古内容の充実など、具体的施策を積極的に展開してまいります。

また、活動の基盤である会員数の拡大は最重要課題であります。

本年度は、純増8名以上の達成を目標とし、会員一人ひとりの積極的な「声掛け」による勧誘活動を通じて、新しい仲間づくりを進めてまいりましょう。

「仲間を増やし、共に高め合う」—その積み重ねこそが、本クラブの未来を創ります。

何卒、本年度も変わらぬご理解とご協力、そして一層のご参加を賜りますよう、お願い申し上げます。

敬具

幹事長 寺本 昭彦

#### 【第288号の主な事項】

- ① 3月 役員会・定時総会・例会は、3月14日(土)～15日(日)に広島県福山市にて開催いたしました。その役員会・定時総会等の概要報告を致します。
- ② 3月20日(金)～22日(日)、台湾・高雄にて開催された国際都市剣道親善交流大会に、三好会長をはじめ9名が参加してきました。その報告をさせていただきます。
- ③ 4月例会は、「宿泊」から「日帰り」に変更し、4月11日(土)に広島県広島市にて開催します。
- ④ 5月3日(日)、全国例会(通常総会)が、京都市にて開催されます。多くの参加をお願いします。
- ⑤ 新会員の確保・拡大に向けて、会員ひとり一人の活動により、一名でも多くの新会員の獲得にご協力をお願い致します。



## 2026(令和8)年度 3月新年度例会『宿泊』＝広島県福山市＝のご報告

2026(令和8)年3月1日から、新年度がスタートしました。新年度の「3月例会(宿泊)」「役員会」「定時総会」は、3月14日(土)～15日(日)、広島県福山市の福山市総合体育館「エフピコアリーナふくやま 剣道場」にて開催しました。

気温は19.9度と暖かく、暖房も使わなくても良いくらい剣道に適した気候であり、また津田範士八段並びに城代教士八段にもご参加いただいたことから、通常とは異なる緊張感のある新年度例会となりました。



### 【会計監査】

3月14日(土)、福山市入船町の福山天満屋ポートプラザ内の喫茶店にて、小下監事による2025年度会計決算報告の監査を受けました。(竹島監事は当日欠席のため、事前に監査および承認をいただきました。)

監査の結果、すべて適正に処理されていることが確認され、承認を得ました。その後、役員会へ向かいました。

### 【役員会】

3月14日(土)12時45分から、「エフピコアリーナふくやま 会議室」にて役員会を開催しました。

冒頭、三好会長より「中国地区クラブは高齢化が進んでおり、安定的な運営のためには新規会員の拡大と組織の活性化が不可欠である。より良い会づくりとさらなる発展に向け、活発な議論をお願いしたい。」とご挨拶をいただき、役員会が開始されました。

定款により、三好会長を議長として議事が進行され、出席者数(総勢：13名、出席：9名、委任状：4名)の確認後、寺本幹事長より、第1号議案：2025年度の事業報告、第2号議案：2025年度決算報告(小下監事から監査結果報告)、第3号議案：2026年度の事業計画(案)、第4号議案：2026年度予算計画(案)、第5号議案：2026年度中国地区クラブの運営(案)、第6号議案：中国地区クラブ規約の改定(案)、第7号議案：2026年度～2027年度中国地区クラブ役員、その他：①会員増に向けた取り組み<審議>、②役員・定時総会における連絡方法等の見直し<審議>、③報告書・会員名簿の郵送費削減<報告>について説明がありました。

審議の結果、第1号・第4号・第6号・第7号議案およびその他事項は、いずれも原案どおり議決されました。第2号議案については、未収金の取り崩しの提案がありましたが、未納者への会費督促を優先し、その経過を踏まえたうえで次年度に判断すべきとの意見が出されました。これを受け、幹事長が督促を実施し、次年度に改めて検討することです承されました。また、第3号議案並びに第5号議案については、4月例会の「宿泊」から「日帰り」への変更すること、「日帰り」例会と「宿泊」例会の区分を明確化すること、若手が参加しやすい例会への見直し、について意見が出されました。このうち、4月例会は「日帰り」で実施することが決定されました。また、若手参加促進に向けた見直しについては、若手の意見を踏まえたうえで、後日改めて検討することとなりました。なお、「日帰り」例会と「宿泊」例会の明確化については、当日結論に至らなかったため、後日各幹事の意見を踏まえ、「日帰り」例会は土曜日の稽古会のみとし、宿泊・懇親会および翌朝の稽古は各自対応する」方針が決定されました。

活発かつ熱心な議論が行われ、予定時間を超過し、14時15分に閉会しました。ご出席いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

### 【準備体操、写真撮影、座礼、記念品贈呈】

例会第1日目(3/14):14時00分、「エフピコアリーナふくやま 剣道場」に会員17名、地元剣士4名、総勢21名が集合しました。

役員会の終了が少し遅れたため、14時45分開始となりました。松田先生の号令による準備体操・素振りから開始となり、記念撮影を行った後、座礼。三好会長より3月例会の開始にあたり、①2026年度における中国地区クラブの活性化に向けたご意見のお願い、②65才以上・5段以下の受審資格短縮の周知、③稽古等でハラスメントが見受けられた際の注意・指導のお願い、④2026年度の例会も日本剣道形及び基本稽古を重視、についてご挨拶等をいただきました。



その後、11月8日(土)の愛知県で行われた剣道七段審査会において合格された石原律子先生(鳥取県)へ、三好会長より記念品を贈呈しました。石原先生からは「7段も6段と同様に7回目で合格することができました。あきらめず頑張ったことが合格に繋がったと思います。今後も例会に参加し、より精進してまいりますので、引き続きご指導いただきますよう、よろしくお願い致します。」と力強くご挨拶をいただきました。



石原先生記念品贈呈・挨拶

### 【基本打ち稽古】

平川副会長の号令・ご指導により、模擬審査に向けて基本打ち稽古を注意いただきながら、①切り返し：打つと同時に右足が付き、直ぐに左足を引き付けること。②大きな面打ち：触刃の間から一足一刀の間まで攻め、合気になったところを一拍子で打つこと。③小さな面打ち：触刃の間から交刃の間まで攻め、小さく早く一拍子で打つこと、④小手打ち：手元が上がるうとするところを読んで打つこと。⑤小手・面打ち：小手を打つ時も面を打つ時もしっかり踏み込むこと、⑥面に対する応じ技：打った後はすり抜けて残心を取ること。⑦小手に対する応じ技、を行いました。



基本打ち稽古の終わりに、三好会長より「基本打ち稽古では、あらかじめ決められた動きの中で打つため、打突は比較的容易に行えます。しかし、実際の稽古では相手が動くため、同じようにはなかなか打つことができません。そのため、基本打ち稽古においても「間合い」を意識して行うことが重要です。特に、距離感をつかむうえで最も分かりやすいのが竹刀の位置関係です。一足一刀の間から面を打とうとしても、相手が下がれば打突は届きません。そこで、竹刀を基準に距離を測り、自分と相手の中結が交差する位置までしっかり攻めてから打つことが大切です。また、面が届く位置は、自分の左拳が相手の中結の位置となります。その際、相手の剣先を左手で叩くような意識で打つと、より良い打突につながります。」とご指導いただきました。



### 【審査研修会】

15時30分より審査研修会を開始しました。審査委員は三好教士八段、平川教士八段にご担当いただき、厳正に実施されました。受審者は、八段位3名、六段位3名の計6名が挑戦しました。

受審者の皆さんはやや表情が硬く、動きにも力みが見られるなど、全体的に緊張感のある雰囲気でした。姿勢・発声・間合い・攻防のいずれにおいても、平素の稽古とは異なる印象を受けました。

各段位の立合い終了後には、審査員の先生方より受審者一人ひとりに対して丁寧な講評をいただきました。研修会の最後の総評として、三好会長より次のようなご指導がありました。

「全体的に“攻め”が見えない。審査員は打突そのものよりも、打つ前の“命を懸けた攻め”を見ている。その攻めによって理合いが生まれる。触刃の間から『さあ行くぞ』という気持ちで攻め、相手が崩れたところを打ち切る。相手が出てくればそれを捌く。攻めのない打突は、たとえ当たっても審査員の心には響かない。触刃の間から剣先を下げ静かに攻めたり、気位で中心をじわじわと攻めることで、相手の反応を引き出すことが重要である。また、攻めの中で左腰が締まり、左尻の下に力が入ることで、弓矢を放つような勢いのある打突が生まれる。」

続いて平川副会長からは、「三好会長のお話のとおり、相手が思わず反応してしまうほどの、腹を据えた“攻め”が必要である。その攻めこそが審査員の心に響く。」とのご指導をいただきました。



## 【稽古会】

16時15分過ぎ、津田範士八段、三好教士八段(会長)、平川教士八段(副会長)を講師陣とする指導稽古及びお互い稽古に移りました。

参加者は、審査研修の結果を意識して掛かる者、果敢に攻める者、無心で打ち込む者など、それぞれの思いを胸に稽古に臨んでいました。しかしながら、心・技・体が一致した打突を実現することの難しさに、多くの方が苦戦している様子も見受けられました。

指導稽古終了後は、引き続きお互い稽古に取り組み、各自が課題と向き合いながら汗を流しました。充実した指導と多くの気づきを得た、実りある約1時間の稽古となり、17時に無事終了しました。

第一日目の稽古終了にあたり、三好会長より次のとおり講評とご挨拶をいただきました。

「本日は、立ち合い・間合い・打ち間についてお話ししましたが、改めてよく考え、今後の稽古に活かしていただきたい。審査においては『命を懸けた攻め』『理合』『打ち切る』の三点が最も重要である。特に『打ち切る』ことについては、手首を柔らかく使い、右手に力を入れず、左腕主体で振ることが大切である。右手に力が入ると“叩く”打ちとなり、音も『ガチャ』というものになってしまう。」



津田範士



三好会長



平川副会長



## 【定時総会】

17時15分、定足数の確認(会員数：59名、参加53名(うち委任状38名)、棄権6名)を行い、総会の成立を宣言。続いて三好会長より開会の挨拶をいただいた後、議長に寺本幹事長を選出し、議事に入りました。

寺本幹事長より、第1号議案：2025年度の事業報告、第2号議案：2025年度決算報告(小下監事から監査結果報告)、第3号議案：2026年度の事業計画(案)、第4号議案：2026年度予算計画(案)、第5号議案：2026年度中国地区クラブの運営(案)、第6号議案：中国地区クラブ規約の改定(案)、第7号議案：2026年度～2027年度中国地区クラブ役員、その他事項：①会員増に向けた取り組み<審議>、②役員・定時総会における連絡方法等の見直し<審議>、③報告書・会員名簿の郵送料削減<報告>についての説明がありました。

審議の結果、すべての議案について満場一致で承認されました。ご協力ありがとうございました。

総会の締めくくりとして、三好会長より、①新規会員獲得への積極的なご協力、②国際社会人剣道クラブの認知度向上のため、日常での稽古における名札着用の徹底、についてのお願いがあり、定時総会は終了いたしました。

## 【懇親会】

宿泊者を含む12名は、宿泊先の「ルートイングランティア福山」の大浴場で汗を流した後、19時よりホテル内宴会場にて懇親会を開催しました。三好会長の乾杯のご発声により懇親会がスタート。稽古でしっかり汗をかいた後の一杯は格別で、乾杯のビールはまさに至福のひとつとなりました。その後は、審査研修会を中心とした剣道談議に花が咲き、時間の経過とともに小グループに分かれ、さらに熱のこもった語らいが続きました。



楽しい時間はあっという間に過ぎ、気が付けば終了の時刻となっていました。最後は城代先生の締めの乾杯により閉宴となり、翌朝の稽古開始時間を確認したうえで解散しました。

## 【朝稽古会】

第2日目(3月15日)は、午前6時、朝の涼しい空気の中、前日と同じエフピコアリーナふくやま剣道場に集合しました。参加者は、会員14名、地元剣士6名、地元の子ども剣士2名の計22名です。

6時30分に座礼を行い、直ちに指導稽古およびお互い稽古を開始しました。講師陣は、三好教士八段(会長)、平川教士八段(副会長)ならびに前夜の懇親会から引き続きご参加いただいた



2026年3月15日(日) 於:福山市(エフピコアリーナふくやま 剣道場)

城代教士八段の3名です。稽古では、いつもとおり講師への指導を受けるため順番取りで、順番取りに遅れた方は参加者同士で積極的にお互い稽古に取り組んでいました。皆それぞれ、前日の指導や反省、課題を意識しながら、充実した稽古に励んでいました。



2日間の例会の締めくくりとして、三好会長より①打突の距離感、②攻めの重要性（「行くぞ・行くぞ」と繰り返し攻め、すぐに打たないこと。「攻めて打つ」「相手の動きを予測して攻め打つ」「攻めて誘って打つ」の三点を意識すること）、③三角矩の構え、④竹刀の正しい握り方、の4点についてご指導をいただきました。その後、全員で記念撮影を行い、2日間の全日程を無事に終了しました。

体育館を出る頃には朝日が差し込み、心も体も清々しい一日のスタートとなりました。稽古後はホテルに戻り汗を流して朝食を取り、10時30分、解散・帰路につきました。

役員会及び例会の場所の手配等にご尽力いただきました金尾副会長には、心より御礼申し上げます。

～お疲れ様でした。～

(剣道講師陣) 剣道範士八段 津田正臣、剣道教士八段 三好伸二、剣道教士八段 平川龍馬、  
剣道教士八段 城代政春

(参加会員) 三好伸二、平川龍馬、金尾静一、安藤心治、石崎雄亮、石原律子、岩田啓司、上野和雄、  
大上寛、岡本修司、奥野武男、小下明人、廣畑栄三、前原由和、松田悟、松原孝史、  
寺本昭彦

(ビジター) 津田正臣先生(福山)、城代政春先生(広島)、川上稜介先生(広島)、高橋計先生(福山)、  
高橋伸先生(福山)、谷川光弘先生(福山)、中村慎司先生(福山)  
黒川君(福山)、長本君(福山)

## 2026年度 国際都市剣道親善交流大会(台湾・高雄) 等のご報告

3月20日(金)から22日(日)にかけて、台湾・高雄市にて「国際都市剣道親善交流大会」が開催されました。

当クラブからは三好会長をはじめ他8名(岩崎(公彦)先生、岩崎(美穂)先生、岩田先生、上野先生、木谷先生、小下先生、田坂先生、寺本先生)が参加し、現地の方々との絆を深めてまいりました。



<遠征の軌跡：嘉義から高雄へ>

19日(木)は台湾到着後、メンバー1名とはぐれるハプニングもありましたが、無事に嘉義市へ到着。嘉義駅で謝先生のお出迎えを受け、約30名が集う稽古会に参加しました。大柄な剣士たちの迫力に圧倒されつつも、1時間の稽古で汗を流し、その後の夕食会では現地の方々と一緒に楽しく親睦を深めました。



〔合同稽古会〕



〔夕食会〕



20日(金)は、嘉義の先生方の送迎・ご案内により嘉義から阿里山へ足を延ばし、名産の高山茶やコーヒーを味わいながら観光を楽しみました。その後、謝先生の同行により高雄市へ移動。高雄駅で羅先生ご夫妻に迎えられ、高雄武徳殿での合同稽古会に参加しました。夜の歓迎会は飛行機の遅延により開始が遅れたものの、三好会長の乾杯で賑やかに幕を開け、大会に向けた英気を養いました。



〔阿里山高山茶観光〕



〔合同稽古会〕

＜大会当日：400名が集う親善の舞台＞

21日(土)・22日(日)の大会本番には、総勢400名以上(日本からは150名超)の剣士が集結。国際社会人剣道クラブからは57名が参加しました。会場では、陳会長をはじめ、旧知の台湾の皆様との再会を喜び、剣を通じた国際交流の花が咲きました。

試合では、中国地区各チームとも健闘しましたが、惜しくも上位入賞はかないませんでした。しかし、各選手が日頃の修練の成果を存分に発揮した素晴らしい内容でした。



〔高雄武徳殿〕



〔3/21 合同稽古会〕



〔3/21 懇親会〕



〔3/22 合同稽古会〕



〔3/22 開会式〕



〔3/22 懇親会〕

＜帰路：充実の遠征を終えて＞

23日(月)は桃園へ移動し、現地の道場にて最後の稽古に励むとともに、お土産の買い物などで台湾文化を最後まで満喫。最終日の24日(火)は、早朝4時にホテルを出発。午前10時15分、全員無事に広島空港へと帰着し、充実した遠征の終了。

【大会成績(敬称略)】

■ 個人戦 男子45歳以上64歳未満の部 ベスト8：岩崎 公彦先生(※他の方は1回戦から2回戦で敗退)

■ 団体戦 60歳以上の部 中国地区クラブA<上野先生、木谷先生、三好会長>：1回戦敗退

中国地区クラブB<寺本先生、岩田先生、小下先生>：2回戦敗退

59歳以下の部 中国地区クラブC<田坂先生、岩崎美穂先生、岩崎公彦先生>：2回戦敗退

末筆ながら、台湾においては、陳会長をはじめ各先生に大変お世話になり、感謝申し上げます。

また、岩崎先生ご夫妻には、航空券や台湾新幹線、宿泊先の手配から、現地での稽古場所の調整に至るまで、多大なるご尽力をいただきました。細やかなご配慮のおかげで、一同安心して遠征に臨むことができました。この場を借りて、心より厚く御礼申し上げます。

**2026(令和8)年度 4月例会『日帰り』=広島県広島市=のご案内**

【稽古会】 =日帰り例会=<変更>

日 時：2026(令和8)年4月11日(土) 14:00~16:30 (集合時間 13:30)

場 所：『広島刑務所武道場 修武館』 広島県広島市中区吉島町13-114

【その他】

例会幹事：岩田事務局長

実施済です。

## 2026(令和8)年度 5月全国例会(理事会・通常総会)のご案内(予定)

5月例会は、京都市で開催される全国例会となります。

全国例会では「通常総会」が開催されますので、既にNPO法人 国際社会人剣道クラブ 本部より、個人宛にご案内が届いていると思います。一人でも「通常総会」に多くの参加をお願い致します。なお、欠席される場合は、議決権行使のための返信用はがきは、必ずご返信下さい。

### 【通常総会】

日時：2026(令和8)年5月3日(日) 18:00～21:00

場所：京都府京都市 「ホテルオークラ京都」

主催：NPO法人国際社会人剣道クラブ

## 2026(令和8)年度国際交流事業について

2026年度国際交流事業は、以下のとおりです。

是非、国際交流事業における感動・感謝を体感しましょう！学ぶことはきっと沢山あります。



### 2026年度国際都市剣道親善交流大会

期間：3月20日(祝金)～22日(日) 場所：台湾(高雄)

参加者9名：三好会長、岩崎(公彦)先生、岩崎(美穂)先生、岩田先生、上野先生、木谷先生、小下先生、田坂先生、寺本先生



### 夏の欧州交流(南フランス(モンペリエ)・ポーランド(ワルシャワ)・ラトビア)

期間：7月2日(木)～13日(月) <定員到達のため締切>

参加予定者2名：上野先生、小下先生



### 2026年度第38回国際オープン韓国社会人剣道大会

期間：7月11日(土)～12日(日)



### 秋の欧州交流(クロアチア・ドイツ(ミュンヘン)・オーストリア)

期間：10月予定

## お願い！！

新入会員(在住外国人剣士の方も)のご推薦をお願いします。

## 武者修行

東北地区クラブ	幹事長	三條 貞夫	0238-23-2206	e-mail: sanjo@omn.ne.jp
関東地区クラブ	幹事長	中川 岳人	090-9145-8943	e-mail: tetujin-30@jp-meguro4.com
東海地区クラブ	幹事長	酒井 武信	080-5103-3343	e-mail: makoto.adachi151@gmail.com
近畿地区クラブ	幹事長	久保 達也	090-6056-7049	e-mail: tatsuyakubotatsuya@gmail.com
九州地区クラブ	幹事長	池永 祐一郎	090-2158-0769	e-mail: yuichi.kng@gmail.com

以上